

第6次 潮来市行財政改革大綱（素案）に対するパブリックコメントの結果公表について

NO.	提出された意見	市の考え方
1	<p>茨城県も市町村に向けた権限移譲を進める中、その負担軽減を配慮するものの、多方面にわたる事務事業の増加は否めない。過去数期の行財政改革の成果は享受しつつ、パフォーマンスの向上を目指す方向転換は止む無しの状況となっている事は良く伝わりますし、感じております。足元を見つめ直すこと、市民の知恵を活かすこと、トップのリーダーシップ、が事の成否を分けるように思います。</p> <p>1. 職員のモチベーション高く、そのベクトルを一つに集合できるようにしてください。 ○福利厚生、待遇、処遇の適正化を怠らないように十分配慮しつつ、スキルアップ奨励をお願いします。 ○人事は、公平な機会提供と公正な評価が最低限の支えです。客観的な目線で常に改良することをお願いします。</p>	<p>社会情勢や市民ニーズなど本市を取り巻く環境が変化し、多様化かつ複雑化するとともに増加の一途を辿る業務に対応するためには、これまでの行財政改革の手法を見直す必要があります。本市では、市長を本部長とした行財政改革推進本部が中心となり全庁体制の下に行財政改革を推進してまいります。また、市内部だけでなく、市民、民間団体・企業、他自治体や国との連携といった柔軟性も担保し健全な財政運営を目指してまいります。</p> <p>多様化かつ複雑化する業務を適正に執行するためには、職員の職務意欲を向上させるとともに業務への創意工夫を推奨することで、職員のスキルアップを図らなければなりません。同時にすべての職員が能力を最大限に発揮し、生産性の高い業務を執行するため、多様な人材が活躍できる環境を整備することができるよう働き方改革を推進する必要があります。また、人事においても引き続き必要な人材確保を進め、適正な定員管理、職員の適正な配置と人事評価を実施してまいります。</p>
2	<p>2. スクラップ&ビルドは事務事業においても、資産においても大胆に決め、慎重に進めてください。 ○S&Bは「脱皮」にならないように、切落して新たに生まれる、「羽化」を目指してください。 ○資産の売却も含めた有効活用策こそ、市民の叡智を集め、市外にも広く提案して行ってください。</p>	<p>本市の財政規模に応じた行財政運営を確立するため、毎年度、事務事業の評価及び見直しを行い、事業や行政サービスを低下させることなく発展させながら各種事務事業を進めてまいります。また、資産においては潮来市公共施設等総合管理計画に基づく計画的な管理運営を行い、未利用施設については売却や市外を含めた民間企業等による跡地利用を検討し、必要に応じて市民参画での検討を実施するなどしております。こうした取り組みを行いながら維持管理費用の低減を図ります。</p>
3	<p>3. 支出の制御は大胆に慎重に進めてください。同時に市の税収増も困難だからこそ諦めないで欲しい。 ○企業誘致は効果的な打ち手です。一方、潮来市の今ある企業等の元気と成長の方が大事だと思います。 ○困難な課題は、トップのリーダーシップが打開に向けた糸口を導き出します。街に出て戸を叩いてください。</p> <p>以上</p>	<p>人口減少、少子高齢化等により歳入を増加させることは難しい状況ですが、安定した行財政運営のために企業誘致の推進、ふるさと納税の推進等により自主財源の確保を進めてまいります。また今後、社会保障費の増加等により歳出増が見込まれている状況であるため、本大綱に基づき事務事業の見直し等により全庁を挙げて歳出減に向けた取組みを行います。</p> <p>本市では企業誘致だけでなく、市内の企業等の成長も大切であると考えておりますので、各種事業において効果的な支援に努めてまいります。また、「まちづくり座談会」や「市長とどこでもミーティング」を開催するなどして市長が市民の方々から直接、意見をいただく機会も設けております。このように対話を通じて市民の方々からご意見をいただいた上で、市長がリーダーシップを発揮し、行財政運営における困難な課題も解決することができると考えておりますので、市長を本部長とした行財政改革推進本部が中心となり、全庁体制の下、行財政改革を推進してまいります。</p>